【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成16年7月8日(2004.7.8)

【公開番号】特開2003-152974(P2003-152974A)
【公開日】平成15年5月23日(2003.5.23)
【出願番号】特願2001-352906(P2001-352906)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　1/32
　Ｈ０４Ｌ　29/08
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　1/32　　Ｅ
　Ｈ０４Ｌ　13/00　　３０７Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成15年6月13日(2003.6.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】ファクシミリ装置およびファクシミリ装置の制御方法
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
相手先装置との間で、ＩＴＵ－Ｔ勧告Ｖ．８に規定される手順を実行し、上記手順に基づいて、上記相手先装置との間で実行可能な画伝送モードを設定するファクシミリ装置において、
ＡＮＳａｍ信号を送信するＡＮＳａｍ信号送信手段と；
ＣＭ信号を受信するＣＭ信号受信手段と；
上記ＡＮＳａｍ信号を送信した後に、Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、通信を中断する制御手段と；
を有することを特徴とするファクシミリ装置。
【請求項２】
請求項１において、
上記Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、直ちに回線断として通信を中断することを特徴とするファクシミリ装置。
【請求項３】
請求項１において、
上記Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、Ｖ．３４通信不可を表すＪＭ信号を送信し、その後、ＣＪ信号を受信したときに、回線断として通信を中断することを特徴とするファクシミリ装置。
【請求項４】
請求項１～請求項３のいずれか１項において、
上記Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信する通信で、回線断とした以降は、所定条件に基づいて、着信時の応答は、ＡＮＳａｍ信号を送信せずに、ＣＥＤ信号、Ｖ．２１

のＤＩＳ信号を送信することを特徴とするファクシミリ装置。
【請求項５】
請求項４において、
上記所定条件は、その後に所定時間が経過するという条件であることを特徴とするファクシミリ装置。
【請求項６】
請求項４において、
上記所定条件は、その後に所定回数の着信動作をするという条件であることを特徴とするファクシミリ装置。
【請求項７】
相手先装置との間で、ＩＴＵ－Ｔ勧告Ｖ．８に規定される手順を実行し、上記手順に基づいて、上記相手先装置との間で実行可能な画伝送モードを設定するファクシミリ装置の制御方法において、
ＡＮＳａｍ信号を送信するＡＮＳａｍ信号送信段階と；
ＣＭ信号を受信するＣＭ信号受信段階と；
上記ＡＮＳａｍ信号を送信した後に、Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、通信を中断する制御段階と；
を有することを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。
【請求項８】
請求項７において、
上記Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、直ちに回線断として通信を中断することを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。
【請求項９】
請求項７において、
上記Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、Ｖ．３４通信不可を表すＪＭ信号を送信し、その後、ＣＪ信号を受信したときに、回線断として通信を中断することを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。
【請求項１０】
請求項７～請求項９のいずれか１項において、
上記Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信する通信で、回線断とした以降は、所定条件に基づいて、着信時の応答は、ＡＮＳａｍ信号を送信せずに、ＣＥＤ信号、Ｖ．２１のＤＩＳ信号を送信することを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。
【請求項１１】
請求項１０において、
上記所定条件は、その後に所定時間が経過するという条件であることを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。
【請求項１２】
請求項１０において、
上記所定条件は、その後に所定回数の着信動作をするという条件であることを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、ＩＴＵ－Ｔ勧告Ｖ．８通信が可能なファクシミリ装置およびファクシミリ装置の制御方法に関する。
【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
【課題を解決するための手段】
本発明は、相手先装置との間で、ＩＴＵ－Ｔ勧告Ｖ．８に規定される手順を実行し、上記手順に基づいて、上記相手先装置との間で実行可能な画伝送モードを設定するファクシミリ装置において、ＡＮＳａｍ信号を送信するＡＮＳａｍ信号送信手段と、ＣＭ信号を受信するＣＭ信号受信手段と、上記ＡＮＳａｍ信号を送信した後に、Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、通信を中断する制御手段とを有するファクシミリ装置である。
また、本発明は、相手先装置との間で、ＩＴＵ－Ｔ勧告Ｖ．８に規定される手順を実行し、上記手順に基づいて、上記相手先装置との間で実行可能な画伝送モードを設定するファクシミリ装置の制御方法において、ＡＮＳａｍ信号を送信するＡＮＳａｍ信号送信段階と、ＣＭ信号を受信するＣＭ信号受信段階と、上記ＡＮＳａｍ信号を送信した後に、Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、通信を中断する制御段階とを有するファクシミリ装置の制御方法である。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０８】
【発明の効果】
請求項１、７記載の発明によれば、ＡＮＳａｍ信号を送信した後に、Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、この後に、Ｖ．８手順、Ｖ．２１手順、Ｖ．２７ｔｅｒ、または、Ｖ．２９、または、Ｖ．１７の画情報の受信シーケンスに進まずに、回線断にでき、通信不具合が発生することが無く、次ステップへ確実に移行することができるという効果を奏する。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０９】
請求項２、８記載の発明によれば、ＡＮＳａｍ信号を送信した後に、Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、この後に、Ｖ．８手順、Ｖ．２１手順、Ｖ．２７ｔｅｒ、または、Ｖ．２９、または、Ｖ．１７の画情報の受信シーケンスに進まずに、ＣＭ信号を受信したときに、直ちに回線断にでき、通信不具合が発生することが無く、次ステップへ確実に移行することができるという効果を奏する。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１０】
請求項３、９記載の発明によれば、ＡＮＳａｍ信号を送信した後に、Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、この後に、Ｖ．８手順、Ｖ．２１手順、Ｖ．２７ｔｅｒ、または、Ｖ．２９、または、Ｖ．１７の画情報の受信シーケンスに進まずに、ＪＭ信号

を送信し、ＣＪ信号を受信した後に、すなわち、Ｖ．８プロトコルが終了後の好タイミングで、回線断にでき、通信不具合が発生することが無く、次ステップへ確実に移行することができるという効果を奏する。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１１】
請求項４、５、１０、１１記載の発明によれば、ＡＮＳａｍ信号を送信した後に、Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、この後に、Ｖ．８手順、Ｖ．２１手順、Ｖ．２７ｔｅｒ、または、Ｖ．２９、または、Ｖ．１７の画情報の受信シーケンスに進まずに、回線断にでき、通信不具合が発生することが無く、さらに、その後の所定時間以内の着信時は、ＡＮＳａｍ信号を送信せずに、ＣＥＤ信号、Ｖ．２１のＤＩＳ信号の送信が可能になり、Ｖ．２１手順、Ｖ．２７ｔｅｒ、または、Ｖ．２９、または、Ｖ．１７の画情報を確実に受信することができるという効果を奏する。

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１２】
請求項６、１２記載の発明によれば、ＡＮＳａｍ信号を送信した後に、Ｖ．３４通信不可を指定するＣＭ信号を受信すると、この後に、Ｖ．８手順、Ｖ．２１手順、Ｖ．２７ｔｅｒ、または、Ｖ．２９、または、Ｖ．１７の画情報の受信シーケンスに進まずに、回線断にでき、通信不具合が発生することが無く、さらに、その後の所定回数以内の着信時には、ＡＮＳａｍ信号を送信せずに、ＣＥＤ信号、Ｖ．２１のＤＩＳ信号の送信が可能になり、Ｖ．２１手順、Ｖ．２７ｔｅｒ、または、Ｖ．２９、または、Ｖ．１７の画情報を確実に受信することができるという効果を奏する。